

# Yonago East Weekly

●創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 スマイルホテル米子 Tel (0859) 32-5531  
 ●例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/米子全日空ホテル 米子市久米町53-2 Tel (0859) 36-1111  
 ●会長/岩崎 浩 ●幹事/上森英史 ●会報/多林美智子

## 出席報告

会員数 101名 (正会員 100名 名誉会員 1名)  
 出席数 58名 欠席数 40名  
 出席免除会員 2名 荒川(雄)君 杉原(弘)君  
 出席率 59.18 %  
 補正出席率 前回 1/11 77.00 % 12/21 71.00 %

## ビジター

佃 政幸君(東京町田・中RC)

## メーキャップ

池口君、川端君、北沢君、楠君、小椋(理)君、岡君、佐田山君、田淵君(1/19米中央子RC)

荒川(圭)君、荒川(雄)君、宮地君、宮永君、西村(偉)君、尾沢君、杉原(弘)君、杉原(秀)君、内田君(1/23米子南RC)

## 今週のお祝い

**本人誕生祝:** 1日 船田正一君 3日 石部裕一君  
 5日 宮本 守君 15日 荒川圭三君、石井敬薫君  
 19日 古杉 淳君 20日 大道由子君、小林賢志君  
 29日 野津一成君

**スマイルBOX** 15,000円 (742,000円)

本人誕生祝: 船田君、石部君、石井君、小椋(賢)君  
 夫人誕生祝: 種田君 創立記念日祝: 井上(賢)君

## 会長挨拶

早いもので、7月から会長を務めさせていただき半年が過ぎました。12月のクリスマス家族会の中で、永見年度の理事も発表され、これからは岩崎年度と永見年度がダブリながらロータリー活動が進んでいくこととなります。次年度に少しずつ移行する期間となりますが、まだまだ本年度の大きな事業が控えております。

2月8日に開催されます5RC合同例会、2月19日に表彰式が行われます作文コンテストが控えておりますし、次年度の7月にあるIAの地区大会に向けての実行委員会も活動が始まります。6月まで会員の皆様のご協力よろしくお願い致します。

さて、美保基地での地区大会で、ダウン症の障害がある書家 金澤翔子さんの当日書かれた書を覚えていらっしゃいますでしょうか。このたび表装も終わり正式に庄司ガバナーから4RCに対して贈呈を行う運びとなりました。本日例会終了後、贈呈式を全日空ホテル1階で報道関係者にも声掛けして行われます。書は全日空ホテルに常時掲示されます。時間の許す方は贈呈式に参加いただければ喜ばれます。2月8日の5RC合同例会でも披露する予定です。よろしくお願い致します。

以上で会長挨拶を終わります。ありがとうございました。

## 幹事報告

- 本日13:30より米子全日空ホテルにて金澤翔子書家 作品「夢」「翔」お披露目式(4RC合同)
- 出席委員会より出席向上を目指して(お願い)資料配布
- My Rotaryアカウント登録がまだお済みでない方は、手順資料をお持ち下さい。(カウンター)
- 1/25例会終了後クラブ協議会開催(2F琥珀鳥) 「クラブ活動・運営計画書」を必ずお持ち下さい
- 第15回米子市中学生作文コンテスト第1次審査(588名応募) 該当者の方はよろしくお願ひ致します
- 3/4~5 会長エレクト研修セミナー(PETS)のご案内 (倉敷アイビースクエア)  
永見会長エレクト&井上次期G補佐宛て  
(ガバナーエレクト事務所より)
- 例会変更のお知らせ  
米子RC 1/27(金) 休会 ビジター受付なし  
倉吉東 1/26(木) 職場訪問 事務局にてあり

松江南	1/23(月)	}	1/26(木) 松江4RC 合同例会に変更 12:00~12:30 ビジター受付あり
松江しんじ湖	1/24(火)		
松江	1/25(水)		
松江東	1/26(木)		

## 次回プログラム

1/25 「年男放談」 伊藤慎哉 会員



Rotary Serving Humanity

## <プログラム>

「年男放談②」 吉岡朋美 会員

\*別紙掲載



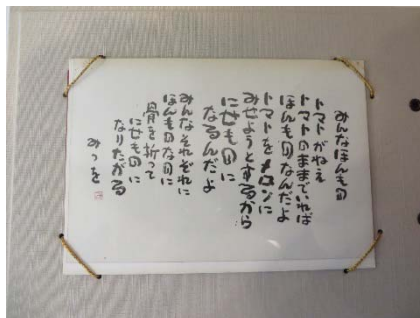
「私の宝物⑨」 種田 進 会員



宝物という事ではありませんが  
親戚から頂いたもので、今から107年位前に  
作られたもののようです。  
子細は一切分かりませんが珍しいものではない  
かと玄関に飾っております。大きさは幅55cm、  
横120cmで木の根で作られております。

「私の宝物⑩」 足立博俊 会員

私の生き方を変えた「相田みつをの作品:みんなほんもの」



約25年前に出会ったこの作品の中の書かれていた  
「トマトはトマト」という発想が、それまでの「立派なこ  
とを言おう」とか「良く見られたい」ということではなく、  
「ありのままの自分であること」の大切さを教えてくれ  
た。それ以来、私の在り方、生き方の基本になって  
いる。



本日のお食事



今後の主な行事予定

- 1/25 クラブ協議会  
例会終了後～
- 2/8 5RC合同例会 18:30～  
(米子全日空ホテル)
- 2/15 第2回家庭集会  
18:30～ 伊藤 会員宅
- 2/19 米子市中学生作文  
コンテスト表彰式  
(米子全日空ホテル)

私は1933年12月25日生まれですので、先日83歳になりました。天皇陛下は、私より2日早いご誕生ですので、正に同世代で親近感をもっています。そして、陛下の象徴天皇としての理想的な姿勢や言動に敬意を抱いていました。このたび、生前退位を申し出られたことは残念なことに思います。

私の職業は淀江で製材業を営んでいます。まだ現役で工場の中を動き廻り、休憩時間には機械を動かしたり、時間を惜しんで働いています。また、米子木材市場の社長も勤めさせて貰っています。米子本社の市日は、毎週木曜日9時半からですが、日南町生山支店の市日が月2回で、隔週水曜日午後1時から始まります。役目柄、私も市に行き行って賑やかをしなければなりません。そのためロータリーの例会には半分しか出席できません。それに加齢によって身長は6cmも低くなっていますし、難聴が進んで、会長挨拶や卓話が半分ぐらしか聞きとれませんので、週報で補完しなければなりません。今年度の週報はちゃんと掲載して下さいますので感謝して居ります。

例会に出て皆さんのご活躍を見てみると、ロータリーでは過去の人間になったなあと実感していますが、私も30年余りの在籍で、前半は可成クラブ奉仕を致しました。その内2点だけお話しします。一つは、米子中央クラブの創設です。新宮会長、私が幹事のときです。ガバナーの公式訪問の時の会長幹事懇談会で、谷口ガバナーはクラブ運営のご指導は全くされませんで、「米子東RCは実力があるから是非拡大をして欲しい」という、それ一点だけの要請でした。これに対し、新宮会長が「やります」と引き請けられました。それで、直ぐに臨時総会を開きました。皆さんは、新宮会長の名誉にかけて協力しようと決議して下さいました。早速、田中伊佐保会員を委員長とする拡大委員会を設けて活動を開始しました。結果的には、当クラブの会員が推薦して下さいました約50名のメンバーが集り、初代会長になって貰った鶴田武久会長一人だけの移籍で、年度内に米子中央RCを創立することが出来ました。特別代表には、村上一平会員になって貰い、新クラブの指導をして頂きました。チャーターナイトだけは翌年度になりましたが、正に電光石火での拡大が出来ました。

次は、当クラブの伝統行事である中学生の作文コンテストです。これは、私が会長になったとき、秦野一憲青少年奉仕委員長から新年度の企画で出されたものです。ペッツに行く時の車中で5クラブ共同の事業をしたいという話があったので、私はこの案はそれに相応しい事業と思いましたので、西部4クラブに話しかけたところ賛同を得ましたので、この案は5クラブ共同の事業でスタートしました。この年度の幹事クラブは米子中央RCでしたので、表彰式は米子中央RCによって進められました。そのため、発案者の秦野さんの名前が出ないままになってしまっていて、秦野さんに申し訳ないことになりました。2回目からは米子東RC単独の事業になって居ります。

話題が変わりますが、皆さんにお尋ねしたいことがあります。一つは、暦注についてです。殆どのカレンダーには六輝が記載されていますが、旧暦の月と日を足して6で割り切れる日が大安です。1余れば赤口、2余れば先勝、3余れば友引、4余れば先負、5余れば仏滅です。どういう訳か、慶事は大安の日にはされますし、友引の日には葬式はされません。科学が進んだ現代に何故この風習が続いているのか不思議です。私には陋習に思えますが如何でしょうか。例えば、建物の上棟日は天気予報を見て決めれば良いことですし、葬式は参会する人の都合のいい日を選んだら良いのではないかと思います。

もう一つは、宗教についてです。神があって人があるか、人があって神があるか、皆さんは何れだとお思いでしょうか。旧約聖書には元始めに神があると明記してありますが、有史以前に神の痕跡はありませんから、人が神を作ったことは自明のことです。ただ、理性を持つ人間は、死の恐怖、未知のものへの恐怖、暗黒に対する恐怖がありますから、超能力の神を作り、これを崇めることによって恐怖を取り去ろうとしたのだと思います。神を信じ神に祈ることによって安らぎを得ようとしたのです。讚美歌にも悩み悲しみに沈めるときも、祈りに応えて取り去り給うという詩があります。宗教は人間が作ったものであっても、信ずることの出来る人にとっては幸せをもたらします。もっとも、渡辺恒雄氏や細川もりひろ氏、過去には白洲次郎氏などは、葬式無用、戒名不用と云っています。この人達は、悩みを自分の力で克服する強い意志をもって居られるということでしょうか。皆さんのお意見を聞きたいと思います。

さて、本論に戻ってロータリーの職業奉仕について話させていただきます。

まず、職業奉仕四つのテストです。皆さんは毎月1回唱和なされて居られますが、内容を理解していらっしゃるでしょうか。私は、例えば「みんなに公平か」に抵抗があります。私は、小売価格と卸価格と二重価格で販売していますから、みんなに公平ではありません。四つのテストは、余りに簡潔過ぎてよく理解出来ないのではないかと思います。先輩のロータリアンも同じ思いをされていたようで、「職業奉仕四つの反省」として次のように書いて居られます。

顧客に対して:最上の品質、最高のサービスを提供しているか。常に正直と親切を旨としているか。  
従業員に対して:彼等の長所を充分認め、且つそれを買っているか。安全で快適な職場を確保しているか。苦情に対して公平に処理しているか。自ら誠実、正直、善意の手本を示しているか。  
競争者に対して:公正な態度で接しているか。行動を以て誠実を感銘させているか。彼等と共に事業の水準を高める努力をしているか。  
協業者に対して:公平で且つ友情に満ちた関係を保っているか。いつも支払をよくしているか。

半世紀も前に書かれたものですから、表現が古臭いと感じられますが、皆さんで現代語訳を考えてみられたら如何でしょうか。私はむしろ四つのテストは念仏と捉えた方がいいと思っています。数年前に当クラブで、これを英語で唱和したり、中国語で唱和されたことがあります。益々ちんぷんかんぷんですから、念仏と思えば納得が行きます。

さて、職業奉仕は対価を得る行為ですから、奉仕と云えるのかという疑念が湧きます。これについて、新宮ガバナ一年度に、私がガバナ一月信に書いたものがありますので掲載させていただきます。

ロータリアンの中には、職業奉仕を、自分の職業を通じた社会奉仕(例えば一日無料相談所の開設など)と混同していらっしゃる方がありますが、ポール・ハリスが「社会に役立つ人間になる方法は色々あるが、最も身近で効果的な方法は間違いなく自分の職業の中にある。」と云っているように、自分の職業で精を出すことが職業奉仕であります。これによってよい商品やサービスが供給され豊かな社会が実現されます。職業奉仕はまた多くの人に働く場を提供し、彼等に生き甲斐を与え生活を保証します。更に職業奉仕で得られた利益の一部は納税され、地域や国家の繁栄をもたらします。ロータリーが職業奉仕を活動の根幹としたことは真に理にかなったことであります。

併し、諸々の職業に於ける不祥事が最近マスコミを賑わせています。実は、このことは昔から絶えず発生しております。その原因は二つ考えられます。一つは人間が動物であることから生じます。動物であることは自分という個と自分の属する種を維持するという本能があるということです。従って、二者択一の時には相手を排除して生き残りを図ろうとします。もう一つは資本の論理が利を追求することだからです。資本主義社会に於ける経営者は必然に利を追求します。この二つのことは誰しも否定出来ない真理だと思います。ただ、人間は理性のある動物ですから、二者択一の場でない限り、利己のみでなく相手の立場を考えなければなりません。従ってロータリアンの職業奉仕は自己の利益を追求すると同時に相手(社会)の利益を追求するという強い倫理感を伴うものでなければならないと思います。近江商人の理念は、売り手よし、買手よし、世間よしの三方よしであると伝えられていますが、ロータリーの職業奉仕もそうあらねばならぬと思います。但しこの倫理感にはロータリアンになってから身に付けるものではなく、ロータリアンになる前に身に備えなければならないものだとは私は思います。

ロータリーの職業奉仕で問題にしなければならないことは、自分の職業でいくら誠実に努力していても、時代の変化によってそれが社会のニーズに合わなくなって退かざるを得なくなることです。最近のロータリー会員減少の一因は、職業奉仕をする場を失った会員が多いことにあると思います。この対策こそ、ロータリー職業奉仕を活性化させる課題ではないでしょうか。

ロータリーが職業奉仕を重視していることに不満をもち、社会奉仕を奉仕の中心にすべきだとする人達がロータリーを抜け出して1919年に作られたのがライオンズクラブです。こちらの方がマスコミも取り上げ易いのは仕方のないことと思います。

さて、ロータリーの目的は奉仕と親睦ですが、ロータリーソングの歌詞にあるように、「望むは世界の久遠の平和」であります。平和であるためには、二者択一のない豊かな社会でなければなりません。豊かな社会の実現のために数多くのロータリアンの職業奉仕は大きく貢献します。そして、それは社会が必要とする職業奉仕でなければなりません。

また、親睦の中で生まれる自己研鑽も重要です。殊に多様な分野の中の中枢であるロータリアンの交友は大いに有効です。孫さん、三木谷さん、柳井さんのような高名な人にならなくとも、置かれた場所で咲く人生でありたいと願っています。